

Nippon ネウボラネットワーク 設立記念シンポジウム

～どうなる？日本のネウボラ～

平成28年12月10日（土）
亀岡市子育て世代包括支援センター
センター長 田中 美賀子



亀岡市概要

人口：9万人

年間出生数：約700人

面積：大阪市とほぼ同じ

1955年亀岡市へ

2016年11月新市長

待機児童：4月時点 46人(国の基準 12人)

11月時点 124人

京都駅から20分、嵯峨嵐山から8分 (JR)

京都市内・大阪市内への通勤圏

京野菜、明智光秀、トカイナカ

保津川下り、トロッコ、湯の花温泉



子育て、教育

- ・ 保育園17（公立8、私立9）
- ・ 幼稚園4（公立1、私立3）
- ・ 小学校18、中学校8、高校2、大学1
- ・ **利用者支援事業「母子保健型」 1か所**
子育て世代包括支援センター（保健センター内） NPO法人
- ・ **利用者支援事業「基本型」 4か所**
公立保育所、社会福祉協議会、NPO法人
- ・ **地域子育て拠点事業 5か所**
私立保育園、社会福祉協議会、NPO法人
- ・ **一時預かり事業 5か所**
私立保育園、公立保育所、NPO法人



孤立の育児から子育て支援へ



- 1994年 長男出産 京都市内で孤立の育児
- 1996年 地元亀岡へ 次男出産
- 1997年 近所の人と自宅で集まる
- 1998年 子育てサークル立ち上げ
- 1999年 子育てサークルリーダー交流会参加 スタッフへ
- 2004年 主任児童委員就任
- 2005年 京都府内子育て支援者ネットワーク立ち上げ
- 2006年 次世代育成支援協働フォーラム in 京都(事務局)
- 2007年 団体代表就任
- 2015年 同志社大学大学院入学 「産後の孤立予防」研究
- 2016年 亀岡市子育て世代包括支援センター 長



団体沿革

- 1998年 団体設立
- 1999年 活動開始
- 2002年 手作り情報誌発行
- 2007年 団体代表交代
携帯メール配信事業開始
- 2009年 法人設立
- 2010年 地域子育て支援拠点事業：市から受託(スタッフ雇用)
亀岡駅前事務所開設
- 2013年 子育て応援情報誌発行（ソーシャル・ビジネス）
- 2014年 一時預かり事業、自主事業から亀岡市補助事業へ
- 2015年 利用者支援事業「基本型」：市から受託
- 2016年 産前・産後サポート事業立ち上げ
子育て世代包括支援センター：市から受託



関係機関との関係づくり

京都府委員	8
亀岡市委員	15
主任児童委員	12年

- ・ 最初は公募委員から
- ・ 委員に入ると会議や事業、懇親会で顔を合わせる
- ・ 計画策定の委員になると行政の方向性がわかり、現場からの提案ができる
- ・ 主任児童委員は関係機関が多岐にわたり、ハイリスクな家庭の情報を共有できた
- ・ 主任児童委員（民生委員）は地元に着して



亀岡市子育て世代包括支援センター - BCome

2016年10月26日開設

《スタッフ》

センター長

ソーシャルワーカー

子育て支援員

助産師（不定期）



開設までの経緯

2015年 4月 亀岡市議会議員と子育て支援団体との意見交換

5月 京都府との意見交換

6月～実態調査、先進地視察（日本、フィンランド）

11月 新市長就任 マニフェスト

1.子育て・教育で憧れのまちに(子どもの未来づくり)

2016年 1月 市長と団体との意見交換

2月 ヒアリング

6月 補正予算採決

7月 プロポーザル募集

8月 提案書提出 → 採択決定

10月 委託契約

開設準備

保健センター内で開設





保健センター内メリット

- ・利用者にとりわかりやすい場所
- ・市民にとって信頼できる場所
- ・開設準備から運営を一体に行えている
- ・両方で、すぐに報告・連絡・相談ができる
- ・情報共有し早期対応が可能
- ・お互いの専門性を尊重し試行錯誤しながら事業を創っていく



保健センターとの関係性

- ・ 保健センターが市民活動の広報に協力的
- ・ 乳児健診日にスタッフが保健センター内で事業の広報
→ 月4～5回、約7年間継続
- ・ すでに相談事業で連携
→ 市の委託事業（児童福祉法）
- ・ 子育て世代包括支援センター事業の情報共有
→ 保健センターと子育て支援課に頻繁に情報提供
- ・ 代表やメンバーが主任児童委員を兼務
→ 乳児健診手伝いや定期的な意見交換の機会あり



BCome 基本方針

- * 子どもの最善の利益の実現
- * 妊娠初期から全ての家庭とつながる
- * 妊娠期から子育て期にわたるまで切れ目のない支援をワンストップで行う
- * 積極的にアウトリーチすることにより、早期発見、早期対応で子育て家庭の困り事を見過ごさない
- * 亀岡で積み上げられてきた母子保健と子育て支援を繋ぎ地域で必要な支援を開発する
- * 子育て家庭を支え応援するネットワーク構築



BCome 事業内容

- * 妊娠期から産後6か月の家庭を重点的にサポート
- * 子育て家庭のニーズに合った相談や支援、記録作成
- * 妊娠期から子育て期にわたるつながり支援
- * 支援が必要となる妊産婦等の支援計画の策定、評価
- * 社会資源のデータベース化と共有
- * 家族講座、産後ケア講座
- * ゆるやかにつながり寄り添う継続的な情報発信
facebook、insutagram、LINE@
- * 段階的なネットワーク会議
- * 家族を支えるチームづくり



保健センターと一体となった運営

BCome		保健センター	
妊娠初期	支援台帳作成 相談記録作成 支援プラン作成	←	母子手帳交付 ・ BComeチラシなどを手渡す ・ 妊娠届出書の情報を共有(同意者) ・ 要支援者は一緒にBComeへ
妊娠中期	家族講座開催 情報提供	↔	相談事業
妊娠後期	妊婦訪問 子育てプラン作成	↔	相談事業 パパママ教室
出産後	産後ケア講座(産後4か月まで) 産婦訪問	↔	新生児訪問 赤ちゃん訪問
子育て期	家庭訪問 継続支援 地域資源へつなぐ	↔	乳児健診 育児相談 子育て講座、教室

関係機関とのネットワーク

段階的なネットワークを開催（予定を含む）

- ・ 予防会議

BCome、保健センター、家庭児童相談室

- ・ 運営会議

ソーシャルワーカー、相談員、助産師、保健センター
子育て支援課、講座担当講師

- ・ 実務者会議

BCome、保健センター、子育て支援課、利用者支援事業
地域子育て支援拠点事業、主任児童委員



まだまだ手探り状態

当事者にとって切れ目ない支援

関係機関の切れ目ないつながり

あちらこちらで芽が出てきている実感

 **BC Come** びーかむ を中心に

亀岡版ネウボラが展開してきた！

